

2017年6月2日

東京海上日動火災保険株式会社

サイエンス社との業務提携について

東京海上日動火災保険株式会社(社長:北沢 利文、以下「弊社」)は、サイバーリスク関連のデータ収集・分析およびリスク評価モデル開発に専門性を有するサイエンス社(CEO: Arvind Parthasarathi)と戦略的提携契約を締結いたしました。この提携により、弊社は国内のサイバーリスク保険の引受能力の向上を通じた引受拡大やリスク管理能力の強化に努めて参ります。

1. 背景・経緯

昨今のサイバー攻撃の件数は年々増加しており、警察庁の発表によると平成28年度に発生した標的型メール攻撃の件数は、前年同期比で218件増加の4,046件にのぼるなど、衰える気配を見せておりません。サイバー攻撃の件数が増加することに加え、攻撃の手法も年々多様化、巧妙化するなど、絶え間なく進化し続けており、もはやその被害から完全に逃れることは困難であると言われております。

弊社では、2015年2月より「サイバーリスク保険」の販売を開始し、現時点で多数のお客様に本保険をご採用いただいております。今後もサイバー攻撃等に対するリスクヘッジの手段として、保険が益々活用されることが見込まれます。

一方で、サイバーリスクは自然災害等、他のリスクと異なり、過去の事故データが十分に存在せず、かつリスク自体が常に変化し続けているという特殊性があり、今後発生しうる損害を正確に予測すること自体が困難なリスクであります。また、企業がサイバー攻撃の被害に遭う要因は一様ではありません。一般的にサイバー攻撃の被害の原因は、セキュリティの脆弱性等技術的要素に注目される傾向がありますが、実際には、当該企業の知名度や業務内容、取扱う個人情報の量など技術的要素以外の要素によっても攻撃されるリスクが異なりますので、これらを総合的に把握し、対処していく必要があります。

弊社では、上記のようなサイバーリスクの特殊性や多様性に鑑み、更なるデータ収集およびリスク分析手法の高度化の実現に向けて研究・開発を強化しております。

2. サイエンス社の概要

サイエンス社は、米国シリコンバレーを拠点とするサイバーリスク分析プロバイダーで、サイバーリスクに関するデータ収集やリスク分析およびリスクモデルの構築に深い専門性を有しております。同社は変化し続けるサイバーリスクのデータを独自の手法で継続的に収集し、分析することにより、サイバーリスク固有のモデルを構築しています。同社は、保険業界や格付機関、銀行等を顧客とし、同モデルを提供することで、当該顧客のビジネスに対するソリューションを提供しており、欧米では既に多くの実績があります。

社名	Cyence Inc.
所在地	米国カリフォルニア州 サン・マテオ(シリコンバレー)
設立年月	2014年9月

3. 提携の目的

弊社では、今回の業務提携により、サイエンス社のサイバーリスクに関する知見の活用および国内における同社とのセキュリティインシデントの共同研究等を通じて、以下の取組みを強化するとともに、今後更なる成長が期待できるサイバー分野において健全な成長を実現して参ります。

- (1)サイバーリスクに関するデータ収集
- (2)サイバーリスク評価手法のブラッシュアップ
- (3)サイバーリスク保険の保険引受・リスク管理能力の向上

4. サイバーリスク保険とは

サイバー攻撃を受けた場合に企業が被る各種リスクを1契約で包括的に補償する保険であり、2015年2月より販売を開始いたしました。国内外における損害賠償訴訟に対応するほか、不正アクセス等のサイバー攻撃発生時の各種対応費用についても補償します。また、2015年10月より、サイバーリスクに関連する「サイバーリスク総合支援サービス」の提供を開始し、国内企業のサイバーセキュリティ体制構築をサポートしております。

以 上